

品質保証研究会 第 143 回幹事会 議事録

’ 1 2 - 5 - 2 5

1. 日 時 ’ 1 2 年 4 月 2 3 日 (月) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
2. 場 所 清水建設・本社 (1 4 階 1 4 0 2 応接室)
3. 出 席 者 神田 (今村委任)、田中、石橋 (小嶋委任)、三角、中村、武田、渡邊、矢作、奈良 (石川、岡澤委任) (記)
(順不同敬称略)
4. 議 題 前回幹事会・議事録確認
平成 23 年度全体活動計画と定例研究会活動
総会議案他について
5. 配布資料 1) 品質保証研究会 第 142 回幹事会議事録 (案) [奈良]
(幹 143-) 2) 第 22 回総会に向けてのスケジュール等 (予定) [奈良]
3) 第 22 回通常総会 / 特別講演会 開催のご案内 [奈良]
4) 品質保証研究会第 22 回通常総会 (案) [奈良]
5) 品質保証研究会 平成 24・25 年度役員候補 [奈良]
6) 品質保証研究会 平成 23 年度 会計報告 [中村]
7) 品質保証研究会・平成 24 年度収支予算案 [中村]
8) 品質保証研究会通常総会特別講演会 [三角]
9) 会員退会について [田中]
10) 規程集 (会則・細則・規程) [奈良]
11) 細則改訂案 [奈良]
6. 議事概要
 - 6.1 資料 (幹 143-1) に基づき、第 142 回幹事会議事録 (案) の内容で確認した。確定版として HP に掲載する。
 - 6.2 資料 (幹 143-2, 3, 4 および 8) に基づき、第 22 回総会の準備等について確認した。
 - 1) 開催案内で、グループ活動報告時間を各グループ 10 分程度にする。また、6 項出欠確認と 7 項会員外の参加申込み要領の表現を判りやすく見直す。
 - 2) 開催案内は、特別講演演題を 5/11 頃まで調整 (4/26 「高い塔を建てなければ新たな水平線は見えない」) し 5/18 迄に発送する。その後、6/15 (金) 期限内で出欠等を確認し、特別講演の参加者 100 名を目標に、会員及び会員以外の参加の働きかけを実施する。
 - 3) 会計監査は、監事、会計担当の都合で調整 (その後 5/17 10-12 で決定) し、次回幹事会の総会議案審議までに実施する。
 - 4) 議案は会則改定の必要がなければ、第 3 号議案までとする。各総会用資料はそれぞれの作成担当で必要部数を総会当日準備する。部数は、参加者数締め切り後 (6/15 以降)、総務幹事から連絡する。
 - 5) グループ活動報告は、PPT で活動状況の説明を実施し、資料の配布は実施しない。
 - 6) 総会時配布の 75 号 QASG ニュースは中村 / 小嶋幹事取り纏めとする。その他、総会時の役割分担を確認した。
 - 7) 特別講演講師挨拶は、5/ 中以降に石橋副会長、渡邊監事、三角及び中村幹事で何うことを確認した (その後 6/5 16:00 で調整)。20 年誌 CD-ROM、活動報告書を持参する。
 - 6.3 資料 (幹 143-5) に基づき、平成 24・25 年度役員候補について確認し、矢作監事が岩瀬啓二幹事に交替し、岡澤幹事が監事に、石川幹事後任は石橋副会長及び渡邊監事に推薦をお願いした。
 - 6.4 資料 (幹 143-6, 7) に基づき、平成 23 年度会計報告、平成 24 年度の収支予算案の確認を実施した。ビジネスステックへの支払処置の反映と平成 24 年度は講演会・見学会参加費を会員は無料する予算案等確認した。
 - 6.5 資料 (幹 143-9) に基づき、JAEA 会員退会についての通知文書の内容を確認した。
 - 6.6 資料 (幹 143-10, 11) に基づき、会則改定の可否を審議し、第 22 回総会議案として作成不要を確認した。
なお、細則は各担当分を次回幹事会までそれぞれ確認し、見直しを平成 24 年度幹事会で実施することを確認した。
7. 今後の予定 ・ 次回幹事会 ; 5 月 25 日の 15:00-17:00 で場所含め調整 (清水建設 1402 で決定) 以上